

日田市文化財保存活用地計画（素案）作成の考え方

1. 素案作成にあたっての基本的な考え方

- ・骨子案をベースに、全体を通して、第1回協議会でいただいた意見及び第1回協議会の資料3（事前配布資料に対する意見一覧）を踏まえながら作成する（下表を参照）
- ・特に、「第3章 歴史文化の特性」の見直し、「第5章 文化財の保存・活用に関する基本理念・基本方針」のうち基本理念の設定、「第7章 文化財の総合的・一体的な保存と活用」のうち、関連文化財を構成する文化財の追加等を行っている

2. 素案の見方

- ・骨子案に対して修正を行ったもの及び事務局内部で変更を行った部分については「赤字」で記載
- ・事前配布資料以降に字句修正、追記、削除等を行った部分については「青字」で記載

3. 第1回協議会で骨子案に対していただいた主な意見（議事録からの抜粋）並びに第1回協議会の資料3（事前配布資料に対する意見一覧）

No	議事録	骨子案	項目	内容	素案	意見に対する検討結果
①	1～2	7	歴史文化の特性	現在の案は、基本的に日田の特性を押さえていると思うが、1つ気になる点として、「(3)江戸時代に栄えた日田盆地のまち」と「(4)北部九州との文化交渉が活発だった日田の人とモノの交流」の二つは内容的に近いものがあり、順番も前後していると思う。	53	特性(1)～(4)について全体的に見直しを行う中で、(3)と(4)を並び替える
②	2	7	歴史文化の特性	特性(3)と(4)は、根底部分が共通している。地域性を考えた際に日田は、古代から交流の拠点であり、文化のクロスロード（交差点）でもあった。そのような地勢だからこそ日田は、江戸時代に代官所、あるいは重要な文化の中心になっていく。そのような意味合いで、歴史文化の特性を二つに分けてもよいが、本質は基本的に同じであると考えられる。したがって特性(3)と(4)の順番を入れ替え、また、後半の項目がやや固いためタイトルも検討するとよいのではないか。	53	特性(1)～(4)について全体的に見直しを行う中で、(3)と(4)を並び替える
③	2	7	歴史文化の特性	特性(3)と(4)は順番を入れ替えると同時に、文章では「交渉」を「交流」にするということと修正いただきたい。言葉については、後の項目においても少し工夫が必要かと思う。	53	特性(1)～(4)について全体的に見直しを行う中で、「交流」に修正した
④	2～3	6	文化財調査	中津江や上津江、前津江地域には民俗文化財は「該当なし」となっているが、本当はないのか。このあたりの山に囲まれた地域には民俗文化財があるのではないかと思っている。地元の方に聞くだけでなく、もう少し積極的に働きかけていくことが必要ではないか。	56	・「該当なし」については誤記のため修正した ・郷土史をはじめ資料に明らかになったもの以外は、全て「△（さらに調査が必要）」とした ・文化的景観、伝統的建造物群、文化財の保存技術については、該当の有無が明らかになっているため「－（該当なし）」とした
⑤	3	5～6	文化財調査	文化財の数だけでなく、この文章全体に関して、日田の中心部が突出して記述され、周辺部があまり出てこないように思える。	56	関連文化財群の構成文化財に関し、周辺部の文化財についても見直しを行った

No	議事録	骨子案	項目	内容	素案	意見に対する検討結果
⑥	3	5～6	文化財調査	調査実施状況の表の中で「該当なし」ということは基本的にあり得ない。調査が未実施で「該当なし」とするのではなく、さらに調査が必要ということで、すでに旧市町村誌や地元の方々からの情報により把握しているものは、早急に反映していただきたい。	56	<ul style="list-style-type: none"> ・「該当なし」については誤記のため修正した ・郷土史をはじめ資料に明らかになったもの以外は、全て「△（さらに調査が必要）」とした ・文化的景観、伝統的建造物群、文化財の保存技術については、該当の有無が明らかになっているため「－（該当なし）」とした
⑦	3	7	歴史文化の特性	歴史文化の特性の(3)や(4)についても、日田盆地と限ってしまって良いものなのかも気にかかる。栄えた「日田」くらいで留めると良いが、盆地に限るとその周りが全て落ちてしまう不安がある。	53	いただいた意見に基づき、特性(1)～(4)について全体的に見直しを行う中で、「(4) 江戸時代に栄えた日田」に修正した
⑧	3	7	歴史文化の特性	特性(1)は、山々に育てられた自然と文化だけではなく、交流もあるのではないかと。特性(3)と(4)の入れ替えとともに少し検討した方が良いかもしれない。	53	交流については、特製の(3)の中で整理した
⑨	3	7	歴史文化の特性	特性(4)では、江戸時代においても周辺部の重要性を忘れないという意味で、「盆地」や「まち」は入れず、「江戸時代に栄えた日田」に留めておくのが良いかもしれない。	53	いただいた意見に基づき、特性(1)～(4)について全体的に見直した
⑩	3	7	歴史文化の特性	江戸時代に最盛期を迎えたことは事実であり、また、特性(4)は時代を限らないということであるため、特性(3)における「江戸時代に栄えた」という表現は残した方が良いと思う。「日田盆地を中心に江戸時代に栄えた文化」といったニュアンスであれば、周辺も含んでいるという意味もあり、良いのではないかと。 「江戸時代に栄えた日田」に留めておくことで、盆地、そして周辺部も栄えたことも包摂できるのではないかと。また、先ほどの特性(4)は「交渉」を「交流」に変えると、「交流」が2回出てくることになるため、その部分は文章を検討する必要がある。	53	いただいた意見に基づき、特性(1)～(4)について全体的に見直した
⑪	3～4	5～6	調査、措置	地域ごとの調査の項目は重要であり、今回は公民館単位で行っているが、そこが活かされるものにはしなければならないと思う。顕彰碑など、新しく、指定文化財でないものの、重要なものは残さなければならない。また、災害で流された石橋など、既に指定から外れてしまった文化財についても、そのままとしておくのは大きな問題であり、そういった文化財をどのような形で検証していくかということも、計画内に盛り込む話である。日田市の場合は、水害で流されたり、壊されたりするものが多くあり、難しい問題であるが、ものが残されているのであれば、何かしらの形で活かしていくことが非常に重要だと考える。	57	未指定文化財の悉皆調査を実施する中で対応したい
⑫	4	8	基本方針	【基本方針②】 文化財を「守る」に「地域住民を巻き込むことが重要」とあるが、事前に集まった意見にも「巻き込む」から「市民の参画・協働で進める」へと変えた方が良いのではないかとあるように、「巻き込む」であると主体は行政にあるように感じるため、言葉を修正したほうが良いと思う。	58	「地域住民の参画・協働により」の文言を追記した

No	議事録	骨子案	項目	内容	素案	意見に対する検討結果
⑬	4	8	基本方針	基本方針は県の大綱の通りであるが、大綱はあくまでも県としての方針であるため、必ずしも大綱と同じにする必要はない。基本的には大綱を基にしていきたいが、他に良い表現があればアレンジしてもよい。	58・59	いただいた意見に基づき見直しを行った
⑭	4	8 8～12	基本方針 課題・方針・措置	委員の皆様からも全般的に市民の参画・協働を目指す姿勢を本文から読み取ることができないということでご意見をいただいた。今後、素案を作る際には、市民の協働・参画を軸にしながら全体の文言を整理していきたい。	—	いただいた意見に基づき見直しを行った
⑮	4	8 8～12	基本方針 課題・方針・措置	文化財は行政のものではなく、やはり市民のものということをお願いしていきたい。行政は市民の方々のお手伝いするという形の方が良いと考えている。	—	いただいた意見に基づき見直しを行った
⑯	4	8 8～12	基本方針 課題・方針・措置	日田市の独自性をもっと打ち出していきたい。	—	いただいた意見に基づき見直しを行った
⑰	4	8 8～12	基本方針 課題・方針・措置	上位の計画でも市民と行政の協働が多く謳われているため、この地域計画でも大切にしていきたいのと同時に、協働だけでなく、「参画」という市民が企画することも打ち出していきたい。	—	いただいた意見に基づき見直しを行った
⑱	4	8 8～12	基本方針 課題・方針・措置	全体的に市民主体に関する意見が多く出ている。また、日田では伝統的町並みなどにおいて、文化財の指定以前から市民主体でまちづくりが行われていたように、役所から自立し、自分たちで活動する文化が根強くあるように思う。それが日田らしさであるとすれば、やはり「市民主体」は重要なポイントになる。	—	いただいた意見に基づき見直しを行った
⑲	4～5	12	基本方針	骨子案12ページの「方針2：文化財を支える人材の育成」にある「文化財ボランティアの育成など、官民一体となって文化財を保存・継承するための仕組みづくり」という文章は上から目線に感じられる。文化財ボランティアという言葉自体、あまり好ましい表現ではないと思う。	64	方針(2) 文化財を「守る」の方針2：文化財を支える人材の育成の⑨に文化財市民サポーターを記載した
⑳	5	12	基本方針	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアというよりは市民がサポートしていくという意味で「文化財市民サポーター」はどうか。 ・「育成」という言葉も別の表現にしたほうが良い。 ・文化財市民サポーターが主体となって文化財を保存・継承するための仕組み」はどうか。 ・「文化財市民サポーターが主体となり、官民一体となって文化財を保存・継承するための仕組みをつくる」としたい。「ボランティア」より「サポーター」のほうが市民の主体性を感じられると思う。 	64	方針(2) 文化財を「守る」の方針2：文化財を支える人材の育成の⑨に文化財市民サポーターを記載した

No	議事録	骨子案	項目	内容	素案	意見に対する検討結果
⑳	5	10	基本方針	「① 文化財を「知る」の課題には、情報発信について記載されているが、その前段階に文化財について知ってもらうための工夫を何か模索できればと思うため、それに係る課題も示せると良い。	60・61	文化財の魅力や価値を市民間で共有するための取組について追記した
㉑	5	12	課題・方針・措置	「情報発信」は市民の主体がない言葉である。「市民と行政が情報を共有する仕組み」があると良い。それは行政側からの情報発信でもあり、市民側からの働きかけ、つまり情報提供でもある。今回の地域計画事業の場合も公民館から文化財の情報を集めたのは、まさに地元の方との情報の共有である。「発信」とは一方的な言葉であるため、追記するのであれば、「情報の共有」が良い。	60・61	文化財の魅力や価値を市民間で共有するための取組について追記した
㉒	5	9	課題・方針・措置	② 文化財を「守る」の現状について、昨今の異常気象により文化財も被災することが増えているが、登録有形文化財の建築物などの修繕は、所有者の自費で賄っているのが現状である。一方で、重要伝統的建築物群保存地区に選定されている豆田町では、景観維持のため保存修理補助事業により蔵が新しく建てられるなど、本当に必要などころへ支援が行き届いていないように感じている。そういった現状を盛り込んでいただくと同時に、今までとは違う異常気象のような天候の影響についての記載も盛り込むことで、文化財の整備が広く行き届くような仕組みを組み込んでいただきたい。	63・69	・文化財を「守る」の方針Ⅰ：文化財の適切な保存の⑦において、指定文化財などの所有者及び管理者に対する補助制度の創設について検討することを記載している ・措置 No37「歴史的建造物保存事業」にて伝建地区以外の歴史的建造物の保存・修理の促進（補助制度の見直し）について記載している
㉓	5	11	課題・方針・措置	指定文化財ですら資金面で非常に厳しい問題がある。指定となっても必ずしも補助金があるわけではなく、今ある文化財を守る独自の仕組みを考えていくことは重要な課題である。最近クラウドファンディングや文化庁の以外の補助金を活用した事例もある。資金は行政からもらうだけでなく、先ほどから挙げられているように、市民が主体的にどのように作るのかということも組み込んでいかなければならない。文化財を「知る」や「活かす」より、「守る」ことは非常に重いものである。文章としては表現に限界があるが、日田市として、これから地域の文化財を守る方法論を模索していく必要があるかもしれない。	63・70	・文化財を「守る」の方針Ⅰ：文化財の適切な保存の⑦において、財源確保について追記した ・措置 No42「文化財保護事業」の欄に新たな資金調達方法の創設に向けた調査研究について追記した
㉔	6	11	課題・方針・措置	未指定のものでも、新しいものでも、地域の人が文化財として保存・活用しなければならないものを挙げて、認定されると補助金をもらい、適切に管理をしていく仕組みがある。日田市でも同様に市民遺産というものを検討してみてもどうか。	63・70	・文化財を「守る」の方針Ⅰ：文化財の適切な保存の⑦において、財源確保について追記した ・措置 No42「文化財保護事業」の欄に地域遺産制度創設に向けた調査研究について追記した
㉕	6	13	関連文化財群	関連文化財群について、それぞれ内容が重ならないように構成されているが、1つの要素が幾つかのストーリーの中にも含まれても良いと思う。例えば、小鹿田焼は水の恵みも活かされていることから、山だけでなく水のストーリーにも含めて良いのではないか。また、鯛生金山も重要な観光資源であり、文化遺産でもあると思うが、関連文化財群のテーマに入れることはできないか。	75	・小鹿田焼については、関連文化財群①の「山の恵みを生かした営み」に掲載しているが、関連文化財群③「川との共生の証と流域の景色」の中で整理していないため、次回までに検討を行い、必要に応じて修正する ・鯛生金山については、関連文化財群の①に掲載した

No	議事録	骨子案	項目	内容	素案	意見に対する検討結果
⑳	7	10	基本方針	「③ 文化財を「活かす」の課題として、「次世代を担う子どもや若年層を対象としたイベントを行う必要がある」とあり、確かにイベントも大事だと思うが、現在の小中学校教育において体験学習が非常に不足をしていることに重点を置いてほしい。	62	庁内部会にて検討する
㉑	7	13～14	関連文化財群	<ul style="list-style-type: none"> ・関連文化財群について、タイトルがあまりおしゃれではないと思うところがある。 ・関連文化財群①は「山の恵みを活かした暮らし」でも良いが、「山の恵みを活かす」と言い切ってしまうのも良いのではないか。 ・関連文化財群②「三隈川との共生の証と流域の景色」は、「川と戦い、川と共生する」としてはどうか。水郷日田の誕生は川と共生してきただけでなく、抵抗してきた歴史もあつての結果であると考える。 ・関連文化財群③「交通の要衝地として栄えた往時の名残」や関連文化財群④「文化交渉で栄えた日田」は、内容としては良いが、タイトルがあまりキャッチーでない。「文化のクロスロードの日田1」と「文化のクロスロードの日田2」くらいで内容が共通していることをあえて表すのはどうか。さらに、「文化のクロスロードの日田2」には江戸時代に栄えた日田についての記載に加えて、現在まで脈々と受け継がれる町人の主体性の文化について入れると、先ほど設定した「市民サポーター」といった言葉の意味につながると思う。 	53	いただいた意見に基づき、特性(1)～(4)について全体的に見直した
㉒	7	13～14	関連文化財群	関連文化財群③と④は「文化のクロスロード」のほか、江戸時代の部分として「町人が主導した文化」などでも日田の特性を端的に表せるのではないか。	53	いただいた意見に基づき、特性(1)～(4)について全体的に見直した
㉓	7	13	関連文化財群全体	関連文化財群①については、山間部の民間信仰も合わせる事が非常に重要になるのではないかと思う。また、「谷部では農業」という表現は違和感がある。そのほか、全体的に文章が自虐的に感じる。「できていない」、「必要である」など同じ言葉が羅列しており、そのあたりは省いてシンプルにできるのではないか。	77～81	<ul style="list-style-type: none"> ・民間信仰については、関連文化財群①「山の恵みを活かした営み」に含むのではなく、新たな関連文化財群として設定する必要があることから、検討課題としたい ・「できていない」「必要がある」との表現は、現状認識（できていない状況）及び現状認識を踏まえた課題（できていない状況を解決するために行うこと）を設定するうえで必要な表記となる
㉔	8	10～12	課題・方針・措置	行政が行う事業もあると思うが、それだけではなく「市民主体」の要素を上手く表せるよう工夫していただけると良い。例えば、他自治体との連携の項目はあるが、市民団体との連携の項目が見当たらない。活動している多くの市民団体や自主的に活動する市民が多いことを活かせるような事業や言葉も盛り込んでいただきたい。	64	(2)文化財を「守る」の方針2：文化財を支える人材の育成の「㉑ 市民との協働」に市民団体の活動支援及び市民参画を記載した

No	議事録	骨子案	項目	内容	素案	意見に対する検討結果
③①	8	12	課題・方針・措置	「活かす」ことについて、学校と関係機関・団体をつなぐことをもっと検討してほしい。どこが中心になるかという点、18校ある小学校の地域に隣接している公民館である。例えば、環境贈与税を使った事業では、各公民館が中心となり博物館と小学校で日田の自然を調査し、結果をまとめている。このように行政と博物館、学校、公民館、市民団体を上手くつなげていけると良い。	64	庁内部会にて検討する
③②	8	—	課題・方針・措置	地方において、自然の博物館が市立であるのは日田のみである。やはり全体的に民間との連携が見えていないことが、大きな問題であるため、ぜひ組み込んでいただきたい。	65・68・70・101	・措置 No9・27・45 にて博物館が行う事業を掲載している ・本計画の推進体制において、担当課の推進体制に博物館を組み入れている
③③	8	—	序章	序章1ページに「有形無形の文化財や歴史は、市民共通の貴重な財産である。」と書いてあるが、市民の人間性やアイデンティティを育てるということに文化財は貢献していると思うため、そのような旨を追記していただきたい。	1	いただいた意見に基づき、「市民の人間性を育て、地域のアイデンティティを確立する」の部分を追記した

4. 第1回協議会の資料3（事前配布資料に対する意見一覧）

No	文書	該当	内容	素案	意見に対する検討結果
①	骨子案	全般	一読して、市民は啓蒙・参加の対象であり、市民との参画・協働とはなっていない点が残念です。文化財保護活用の未来は、市民学芸員・市民研究者や子ども学芸員・子ども研究者と共に進めていけるかにかかっていると考えています。この地域計画も市民の参画・協働の下に作成していただきたいと願っています。文化財保護課からの情報発信だけでなく、市民からの働きかけによる双方向のやり取りを望みます。「市民学芸員・市民研究者」や「子ども学芸員・子ども研究者」、「市民の参画・協働」という言葉をぜひ入れてください。	—	庁内部会にて検討する
②	骨子案	8	「維持管理・修復に地域住民を巻き込む」となっていますが、「維持管理・修復は市民の参画・協働で進める」としてください。「情報発信が求められる」も「情報発信とともに、市民からの探求」が良いです。 「【基本方針③】文化財を活かす」の中に、活かすとは育てるも含むことを明記してください。	58・59	いただいた意見を踏まえ修正した
③	骨子案	11	2. 文化財の保存・活用に関する方針の(1)―③調査・研究人材の育成推進では、「市民参画・協働による発掘など、市民の主体的な文化財調査を推進する」を入れてください。 方針2―⑤では、有識者による評価・価値づけだけでなく、市民自ら価値づけしていくことが重要だと存じます。日田市市民遺産を市民自身が保存活用する道を切り開くためです。	63	いただいた意見に基づき修正した
④	骨子案	12	(3)―⑫では、『大分県文化財保存活用大綱』中の「児童・生徒を主役とした展示等の体験」を踏まえて、「小中学校の子ども学芸員による展示」を入れてください。 また、「学校への出前講座」だけでなく、「学校教員との協働による文化財の価値の伝達と、文化財関連授業の実現」もご検討ください。	64	いただいた意見に基づき修正した

No	文書	該当頁	内容	素案頁	意見に対する検討結果
⑤	骨子案	13・14	<p>【関連文化財群①】では「進撃の巨人」原風景の鑑賞スポットも入れていただければと思います。</p> <p>【関連文化財群④】のタイトルは「文化交渉で栄えた先史の日田」となっていますが、「先史」は旧石器・縄文時代に使います。内容は弥生・古墳時代なので、「原史」が最も適切です。「原史」が一般になじみが薄いのであれば、「原始・古代」でも良いです。ご検討ください。</p>	28	<ul style="list-style-type: none"> ・「進撃の巨人」に関する記述については、社会的環境の「(3) 観光」の項目に記載するのみとしたい ・関連文化財群
⑥	措置一覧	5	<p>無形民俗文化財の映像記録化は、伝承活動や将来中断した時などに大きな役割を果たします。また、記録作成も用途による編集が必要になります。伝承用のものは長く、例えば1時間程度、広報普及用や博物館施設での視聴用には30分程度のもので、そして、撮影した全記録をブルーディスクかDVDで1セット作成する必要があります。有料頒布も考えても良いと思います。また、テレビ番組的なものではなく、記録映像であることをしっかり認識している業者に依頼する方が良い映像を残せます。また、市単費で考えるのではなく、財団等からの助成金の活用などを考えた方が良いと思います。</p>		<p>文化財を「知る」「守る」「活かす」のいずれにおいても財源確保は必要となるが、現在、財源の確保については、文化財を「守る」にて記載しているのみであるため、再度、</p>
⑦	措置一覧	5	<p>デジタルコンテンツの活用において、情報発信は観光サイドと連携することを考えた方が良いと思います。これからは積極的に情報発信して文化財の活用を図り、認知度向上によって保護活動が円滑化することを考えるべきです。</p>	64	<p>いただいた意見に基づき修正した</p>
⑧	措置一覧	6	<p>担い手の育成について、無形民俗文化財の「五馬くんち」や「大野楽」などは、練習の場として地元の公民館が用いられていると思います。そのような公民館に、小さな一室でも良いと思いますが、本格的な民俗芸能などの展示室を作り、来訪者の観覧に供したり、地元の人たちの意識を高めるために用いるようにすると、伝承がスムーズに継承されるようになるのではないのでしょうか。</p>	64	<p>庁内部会にて検討を行う</p>